

リレートーク
relay talk

党県・国政事務所長
くにしげ 秀明



消費税は基幹税？ 原発は基幹電源？

その評価、ちょっと 待ってください

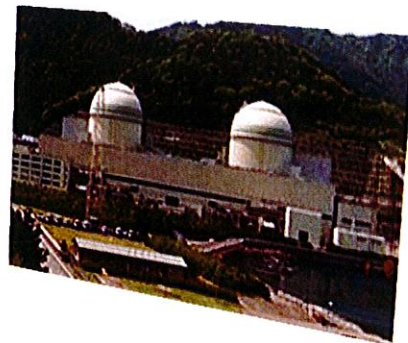
消費税は基幹税、原発＝基幹電源と、「基幹」という言葉をしばしば聞くことがあります。いずれも、国民生活への定着を狙った言い方だと思います。本当に、そういう評価がふさわしいでしょうか。

消費税は、毎日の買い物のたびに負担しなければなりません。所得が低い人ほど、生活に重くのしかかる税金です。「10%はやめてほしい。上げるとしても、ぜいたく品だけにしてほしい」というご意見をしばしばお聞きします。また、国に納めるのは事業者ですが、利益が出なくても売上に応じて納めなければなりません。

国民に過酷な負担をおしつける悪税が、基幹税であっていいはずがありません。

原発については昨年3月、福島第1原発が過酷事故を起こしましたが、その検証がきちんとされていないにもかかわらず、財界は定期検査で停止中の原発再稼働を求めています。

財界は基幹電源と位置づけることで、原発がなければ生活や企業の活動が成り立たないと脅して、「原発は不安だけれどもやむをえない」と国民に思わせたいのでしょう。福島の事故で国土は汚染され、多くの人々に苦しみと不安をもたらしました。政府も財界も、そのことへの十分な反省もなく、地震多発国の日本で原発を継続しようとするのは無謀としかいいようがありません。



(写真・いま再稼働問題で焦点になっている福井県の関西電力大飯原発3、4号機)

のり子の週間予定

4月27日	市駅前早朝宣伝、県へ申し入れ、共産党1区演説会
28日	お休み
29日	地域訪問
30日	地域訪問、街頭宣伝
5月1日	ミーデー
2日	地域訪問
3日	憲法記念日街頭宣伝



ハンドマイクの カバー作ってもらいました

ハンドマイクのカバーをつくってもらいました。雨天の日の宣伝に困っていた所、城北後援会のOさんが30年以上前の洋服のカバーを持ってきてくれました。それを河北後援会のYさんが生活相談所においていたミシンで手を加えよみがえらせてくれました。

このミシンも30年以上使っていませんでしたが今回、ご近所のミシン屋さんをお願いして修理をして息を吹き返しました。この頃のミシンは大変丈夫にできているとのこと。最近修理のできるお店がごくわずかになっているということです。あらためてものを大切に、循環型活用術を意識しようと思っています。

(写真左、くにしげさんの足元で威力を發揮中)



障害者支援法の改悪に怒り心頭

わずか3時間の審議で

ほんまに腹が立ちます。民主・自民・公明の3党が「障害者総合支援法案」をわずか3時間の審議で、衆院厚生労働委員会でも強引に可決しました。

民主党政権は障害当事者が参加する審議会を設けて新法の検討をゆだねておきながら、そこでまとまった新法の「骨格提言」をほとんど無視しています。障害当事者の願いを裏切る法案を提出したうえ、民主党政権は自公との談合で参考人質疑もおこなわず採決したことは絶対許せません。日本共産党はこの法案の骨格に利益負担が残っていることを指摘し反対しました。

障害者自立支援法は自公政権によつて2006年4月に施行されました。障害者が生きるために必要

な支援を「益」だとして1割負担を課し、障害が重いほど負担が重くなる「応益負担」を持ち込みました。これへの怒りから08年には全国14カ所で違憲訴訟が起き、廃止を求める運動が広がりました。民主党はこれらの動きにおされ、09年のマニフェストで自立支援法の廃止を掲げて政権交代を果たしました。

ところが「総合支援法」は「応益負担」の枠組みを残したままです。

家族の収入を含めて負担を課すことやすべての障害者を法の対象にすることも利用を制限する「障害程度区分」の廃止も盛り込まれていません。法案の徹底審議をもとめみなさんとごいっしょにたたかってまいります。

次号はお休みです
しんぶん赤旗日曜版は4月29日号と5月6日号が合併号になり、5月6日号の配達はなく当ニュースもお休みします。



県会議員 奥村のり子の
しんぶん赤旗読者ニュース

2012年4月29日 第38号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉の馬場1-11
電話&FAX 073-427-7121